



## ユーザ デバイス プロファイルの削除

ここでは、ユーザ デバイス プロファイル (UDP) のグループを Cisco Unified Communications Manager データベースから削除する手順を説明します。

次の 2 つの方法を使用して既存の電話機レコードを検索することができます。

- [クエリーを使用した UDP の削除 \(P.40-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用した UDP の削除 \(P.40-3\)](#)

### クエリーを使用した UDP の削除

削除するレコードを探すには、クエリー フィルタを定義する必要があります。Cisco Unified Communications Manager から UDP を削除する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** [一括管理] > [ユーザデバイスプロファイル] > [UDP の削除] > [クエリー] の順に選択します。

[ユーザデバイスプロファイルの削除 (Delete User Device Profiles Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [検索対象] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- [ユーザ]
- [自動生成]
- [すべて]

**ステップ 3** 最初の [デバイスプロファイル、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [プロファイル名]
- [説明]
- [デバイスタイプ]

## ■ クエリーを使用した UDP の削除

**ステップ 4** 2 番目の [デバイスプロファイル、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

**ステップ 5** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**ヒント** データベースに登録されているすべての UDP を検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

**ステップ 6** クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **[AND]** または **[OR]** を選択して、ステップ 2 ～ 5 を繰り返します。

**ステップ 7** **[検索]** をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [デバイスプロファイル名 (Device Profile Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスタイプ (Device Type)]
- [プロファイルタイプ (Profile Type)]

**ステップ 8** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 9** [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックして UDP レコードを即座に削除するか、[後で実行] をクリックして後で削除します。

**ステップ 10** **[送信]** をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。

**ステップ 11** [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 64 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.65-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

**注意**

クエリー テキスト ボックスに情報を何も入力しないと、すべての UDP レコードが削除されます。削除は最終的な操作なので、削除したレコードは復元できません。

### その他の項目

詳細については、[P.40-4](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## カスタム ファイルを使用した UDP の削除

テキスト エディタを使用して、削除する UDP のカスタム ファイルを作成することができます。同一のカスタム ファイルの中に、デバイス プロファイル名、デバイス プロファイルの説明、電話番号を含めることができますが、複数の電話番号を同じファイルに入れることはできません。複数のファイルを作成する必要があります。1つのファイルには、デバイス名と MAC アドレスを含め、もう 1つのファイルには電話番号を含めます。



(注)

シェアドラインを持つ UDP は、カスタム ファイルを使用して削除することはできません。

### 始める前に

1. 削除する UDP について次の詳細のいずれかを記載するテキスト ファイルを作成します。
  - プロファイル名
  - プロファイルの説明
  - 電話番号
2. テキスト ファイルで 1 行に 1 項目ずつ配置します。
3. カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、[P.2-4](#) の「[ファイルのアップロード](#)」を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている UDP を削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** [一括管理] > [ユーザデバイスプロファイル] > [UDP の削除] > [カスタムファイル] の順に選択します。

[ユーザデバイスプロファイルの削除 (カスタム) (Delete User Device Profiles Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [削除対象] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- [ユーザ]
- [自動生成]
- [すべて]

**ステップ 3** [デバイスプロファイル、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、作成したカスタム ファイルのタイプを次のいずれかの条件から選択します。

- [プロファイル名]
- [プロファイルの説明]
- [電話番号]

## ■ 関連項目

**ステップ 4** カスタム ファイルのリストで、この削除用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。

**ステップ 5** [検索] をクリックします。

**ステップ 6** 検索条件に一致する UDP のリストが表示されます。

**ステップ 7** [送信] をクリックして、UDP を削除するジョブを作成します。

[一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。ジョブの詳細については、[第 64 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.65-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

---

### その他の項目

詳細については、[P.40-4 の「関連項目」](#)を参照してください。

## 関連項目

- [クエリーを使用した UDP の削除 \(P.40-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用した UDP の削除 \(P.40-3\)](#)
- [ファイルのアップロード \(P.2-4\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.64-1\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager Auto-Register Phone Tool の概要 \(P.62-2\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.65-4\)](#)